



(お問い合わせ先)
交通エコロジー・モビリティ財団
交通環境対策部 加藤、反町
電話 03-3221-7636

グリーン経営認証取得による効果

(トラック、バス、タクシー、倉庫、港湾運送)

—平成 21 年度版— の検討結果を公表

～トラック、バス、タクシーでは取得 2 年後に 3.0～4.9%燃費が向上し、
倉庫、港湾運送業では取得 2 年後に 2.0～5.1% CO₂ 排出原単位が低減～

トラック、バス、タクシー事業者の取得 2 年後の平均燃費は、車両総重量 8 トン以上のトラックの場合で認証取得時と比較して 4.9%、8 トン未満で 4.7%、バス 3.2%、タクシー 3.0%と向上していました。

取得年度別燃費データの経年変化を見ると、取得後の燃費は毎年向上し、取得年度が古い事業者ほど燃費が改善し、認証取得 5 年後に車両総重量 8 トン以上のトラックの場合で取得時と比較して 11.1%、8 トン未満で 6.7%向上していました。

また、認証取得事業者(トラック)の平均燃費を全国平均と比較すると、全ての車種区分で全国平均よりも良く、全車種区分の加重平均の比較では全国平均より 27.9%良い水準でした。

倉庫、港湾運送事業者では、取得 2 年後の CO₂ 排出原単位は普通倉庫で 3.2%、冷蔵倉庫で 2.0%、港湾運送では取扱いトン数あたりで 5.1%、取扱コンテナ数量あたりで 3.5%改善されていました。

さらに、認証取得事業者は「職場モラル・士気の向上」、「お客様からの評価の向上」、「交通事故件数の減少」「リーダー層の人材育成」などいろいろなメリットを感じていることがわかりました。

1 検討の背景

交通エコロジー・モビリティ財団では、運輸業界を対象に、中小規模の事業者でも容易に、かつ継続的に環境保全に取り組むことのできるグリーン経営(環境負荷の少ない事業運営)推進マニュアルを作成するとともに、本マニュアルに基づいて一定レベル以上の取組みを行っている事業者に対して、審査の上認証・登録を行うグリーン経営認証制度を、平成 15 年 10 月のトラック運送事業者向けを皮切りに、順次各運輸事業者向けに開始しました。

当財団では、グリーン経営認証制度による環境負荷低減の実効性を定量的に評価するため、認証取得

による具体的効果の検討を実施し、認証取得後の燃費向上効果はもとより、交通事故件数の減少、職場モラルの向上等の副次的効果が見られたことを平成18年度より公表してきました。この結果、「省エネルギー法に基づく告示で荷主に配慮を求める」「グリーン購入法の特典調達品目に輸配送、貸切バス、タクシーが追加」「認証取得に向けた助成制度の拡大」などの行政等による認証取得事業者への優遇、普及支援策が広がってきました。

22年3月末現在、認証登録した事業者数は3,000社、保有する車両の総数は18万台を超え、これは日本全国の事業者の保有台数の1割以上にあたります。

本検討結果の公表により、認証取得のメリットや社会的意義を運輸事業者に対してアピールするとともに、認証取得事業者に対する荷主や社会からの評価を向上させ、認証取得に向けた取組みの一層の拡大につなげることを目指しています。

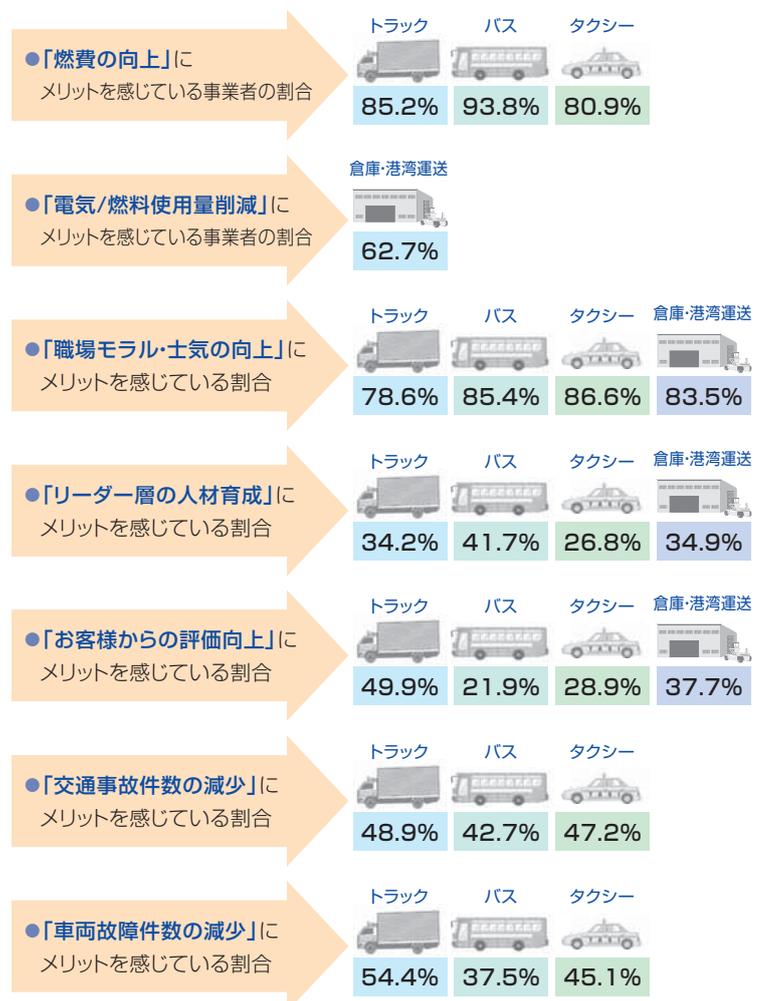
2 検討結果の概要

今回の検討により、次のことがわかりました。

1 認証取得によるメリット（認証取得事業者の声）

〈トラック、バス、タクシー、倉庫・港湾運送〉

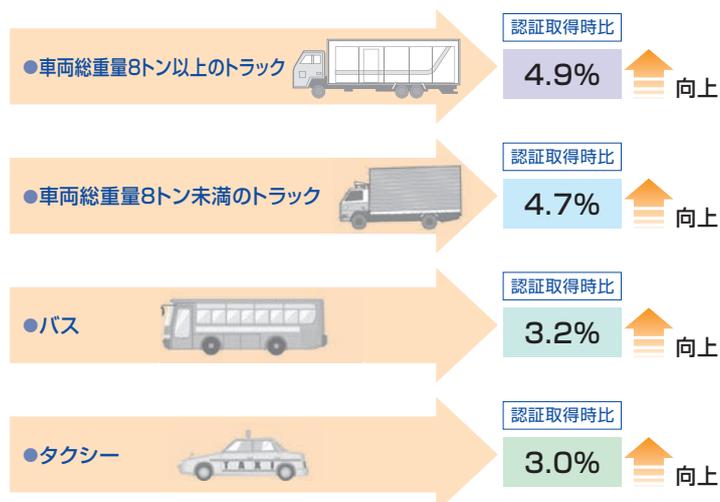
認証取得事業者に対するアンケート結果から、認証取得事業者はいろいろなメリットを感じていることがわかりました。



2 平均燃費 認証前後2年間の比較

〈トラック、バス、タクシー〉

認証取得事業者の平均燃費は、
認証取得後の2年間でそれぞれ良
くなりました。

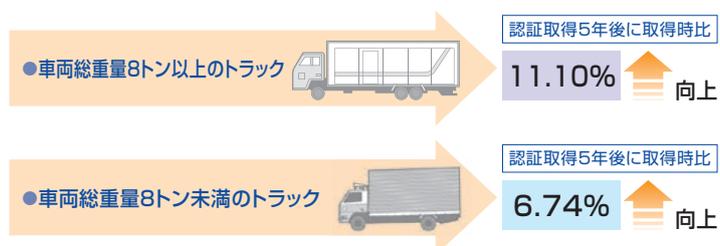


3 平均燃費 推移

〈トラック、バス、タクシー〉

認証取得事業者の取得年度別燃費データの経年変化を見ると、**取得後の燃費は概ね取得年度にかかわらず毎年向上**していました。

トラックの認証取得事業者の取得前と取得後の直近の燃費データを比較すると、**取得年度が古い事業者ほど燃費が改善**されていました。



4 平均燃費 全国平均との比較

〈トラック〉

トラックの認証取得事業者の平均燃費を全国平均と比較すると、全ての車種区分で全国平均よりも良く、全車種区分の加重平均の比較では全国平均より **27.9%** 良い水準でした。

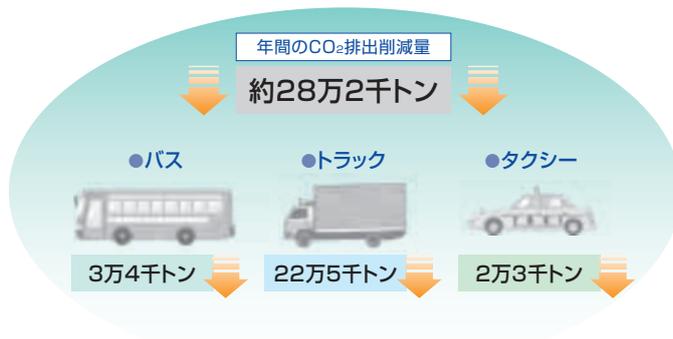


平均燃費 全国平均より **27.9%** 良い水準

5 CO₂ 排出削減量 認証前後2年間の比較

〈トラック、バス、タクシー〉

全ての認証取得事業者で同様の燃費改善効果が期待できると仮定した場合、CO₂ 排出削減量は認証取得事業者全体で年間 約28万2千トン（トラック 22万5千トン、バス 3万4千トン、タクシー 2万3千トン）と推計されます。

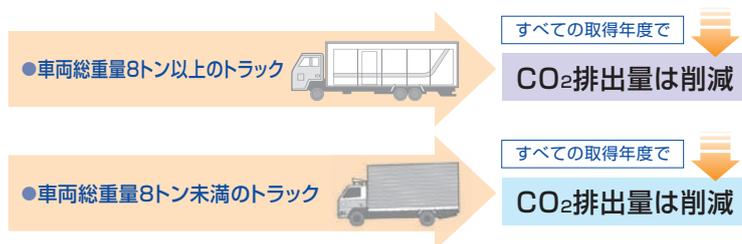


6 CO₂ 排出削減量 取得年度別 取得前と直近審査時の比較

〈トラック〉

車両総重量8トン以上のトラックでは、走行距離が増えているにもかかわらず、すべての取得年度でCO₂ 排出量は削減されていました。

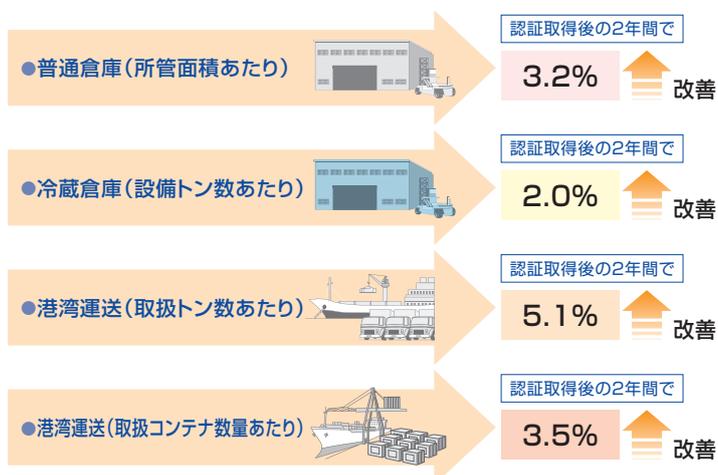
車両総重量8トン未満のトラックでは、走行距離、燃料使用量ともに減少していましたが、走行距離の減少率より燃料使用量の減少が大きく、すべての取得年度でCO₂ 排出量は削減されていました。



7 CO₂ 排出原単位 認証前後2年間の比較

〈倉庫・港湾運送〉

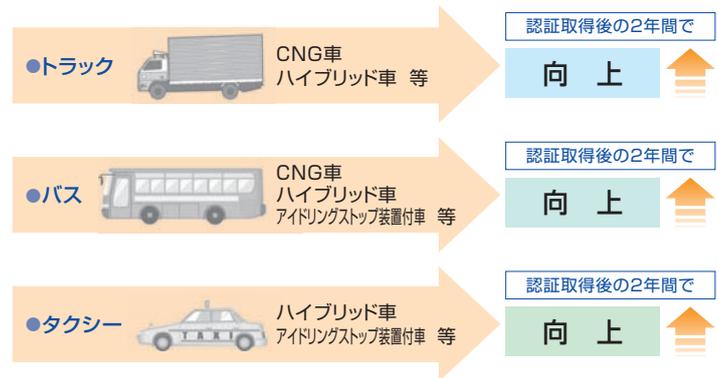
認証取得事業者のエネルギー使用原単位のCO₂ 排出原単位は、認証取得後の2年間でそれぞれ良くなりました。



8 低公害車等の保有率

〈トラック、バス、タクシー〉

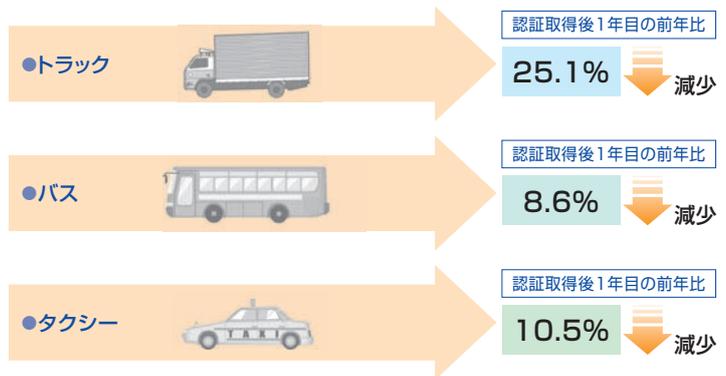
認証取得事業者の低公害車等の保有率は、認証取得後の2年間でいずれも向上しました。



9 交通事故件数 認証前後の比較

〈トラック、バス、タクシー〉

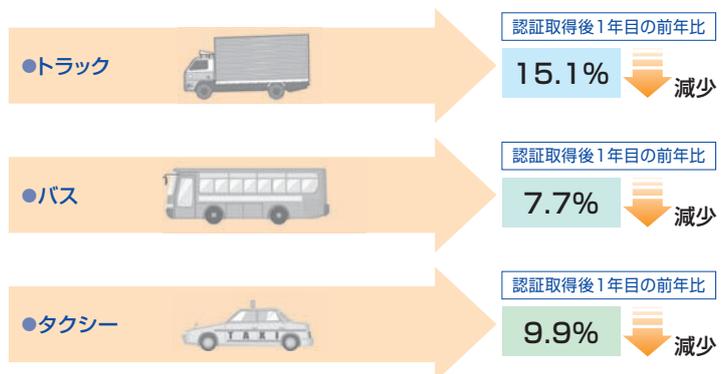
アンケートに回答のあった認証取得事業者の走行距離あたりの交通事故件数は、認証取得後1年目に前年比でトラック 25.1%、バス 8.6%、タクシー 10.5% 減少しました。



10 車両故障件数 認証前後の比較

〈トラック、バス、タクシー〉

アンケートに回答のあった認証取得事業者の走行距離あたりの車両故障件数は、認証取得後1年目に前年比でトラック 15.1%、バス 7.7%、タクシー 9.9%減少しました。



【添付資料】グリーン経営認証取得による効果(トラック、バス、タクシー、倉庫、港湾運送)
-平成21年度版-

(注) 本検討は、学識経験者、運輸事業者、同業界団体、関係省庁等からなる委員会(委員長：石谷久一般社団法人新エネルギー導入促進協議会代表理事)を設置して行いました。